

(仮称) 浜田太陽光発電所計画段階環境配慮書  
に対する意見について

本事業は、PAG Renewables 合同会社（以下「事業者」という。）が、島根県浜田市上府町、久代町において、約 155 haを事業実施想定区域として、最大総出力約 29,900kWの太陽光発電所を設置するものである。

本事業は、ゴルフ場の敷地を太陽電池発電所として転用するものであり、事業を通じて、カーボンニュートラルの推進、再生可能エネルギーの導入及び地球温暖化対策に資することが期待される。

しかしながら、事業実施想定区域とその周辺には、福祉施設等が存在することから、騒音等、生態系及び景観等について累積的な環境への影響も懸念される。

については、本事業計画の検討に当たっては、関係法令を遵守の上、以下の措置を適切に設定し、配置の検討をしていただきたい。

## 1 全体的事項

### (1) 環境影響の回避・低減措置の検討について

事業実施想定区域は、既存のゴルフ場の敷地を転用するものであるが、可能な限り効率的な太陽光パネルの配置方法の選定、土地改変の最小化に努め、自然環境や生活環境に配慮し、環境影響の回避・低減を優先的に検討し、長期的に耐性があり安全な施設設計を事業計画に反映させること。

### (2) 土地利用の変化に起因する防災対策の検討について

事業実施想定区域及びその周辺において、ゴルフ場から太陽光発電所への土地利用の変化に起因する斜面の崩落や土砂の流出等の問題が生じないように、防災対策を確実に実施すること。

### (3) 地域住民等への配慮について

今後の事業計画の検討にあたっては、地域住民等に対し、積極的な情報提供や丁寧な説明を行うとともに、地域住民等からの意見に十分配慮し、地域住民の不安や疑念を払拭し、安全安心の確保が図られるよう努めること。

## 2. 個別的事項

### (1) 騒音等について

事業実施想定区域の周辺には、環境の保全について配慮が必要な住宅は無いものの、福祉施設等が存在しており、工事中及び供用時における騒音による環境影響が懸念される。このため、太陽光発電設備の位置等の検討に当たっては、最新の知見及び先行事例の知見を反映し、福祉施設等への影響を回避又は極力低減すること。

## （２）水生生物について

事業実施想定区域の雨水排水の流出として、二級河川の久代川、下府川があり、多数の希少な水生生物等が多く生息・生育している。このため、本事業の太陽光発電設備等の配置等の検討に当たっては、専門家等の助言を踏まえ、雨水排水対策も十分に検討すること。また、工事实施等の土工量を抑制し、土砂の流出を最小限に抑えるよう十分な検討・対策を講じることにより、重要な水生生物等への影響を回避又は極力低減すること。

## （３）水環境に対する影響について

事業実施想定区域の周辺地域及び久代川沿いにおいては、農業用水への取水が行われている。工事实施時の土砂や濁水の発生や太陽光発電設備設置による雨水等の流出において、河川及び地下水といった水環境・水質に影響を与えるといったことが懸念される。そのため、太陽光発電設備等の配置等の工事实施時には、事前に地質の調査を行い、土砂や濁水の流出等を抑えるとともに、設備運用後においても、水質の保全を図り、汚水の流出等を抑えることにより、水環境や水質への影響を回避すること。また、残土については適切な処理を計画、実施すること。

## （４）動物、植物及び生態系について

事業実施想定区域周辺での動物、植物及び生態系への影響が懸念される。このため、太陽光発電設備等の配置等の検討に当たっては、専門家等からの助言を踏まえ、動植物の生息・生育状況についても適正に調査し、その結果を踏まえ、動植物及び生態系への影響が回避又は極力低減されるように配置等を検討すること。

## （５）景観について

太陽光発電施設の設置について、事業実施想定区域及びその周辺において、景観を損なわない方法の検討や、専門家等の助言や地元住民、利用者等の意見も踏まえて、眺望景観への影響を回避又は極力低減すること。

## （６）廃棄物等

供用後に発生する太陽光パネル等の破損や廃棄については、耐用年数や破損頻度を考慮した上で、適切な方法により調査、予測及び評価を実施し、発生抑制に努めるとともに、発生した場合は影響を回避すること。

また、台風・豪雨及び地震等の災害時における影響についても回避すること。

以上